

# 「新ごみ処理施設」について



令和9年4月 稼働

所在地 : 菖蒲町台（菖蒲清掃センター周辺）の約40,000m<sup>2</sup>

整備施設 : エネルギー回収施設（155 t/日）  
（施設規模） マテリアルリサイクル施設（11 t/日）

建物高さ : 33m（地上6階・地下1階） ※煙突部分/ 59m

事業費 : 約459億円（建設費/301億円、運営費(20年間)/145億円、旧施設解体費/13億円）

久喜負担/ 248億円、宮代負担/ 60億円、国交付金等/ 151億円（概算）

# 1. 新ごみ処理施設整備の経緯

[久喜宮代清掃センター]

1号炉 昭和50年稼働

2号炉 昭和55年稼働



[菖蒲清掃センター]

平成元年稼働



[八甫清掃センター]

昭和63年稼働



集約

～ 周辺環境と調和した施設 ～

～ 迷惑施設と呼ばれない施設～

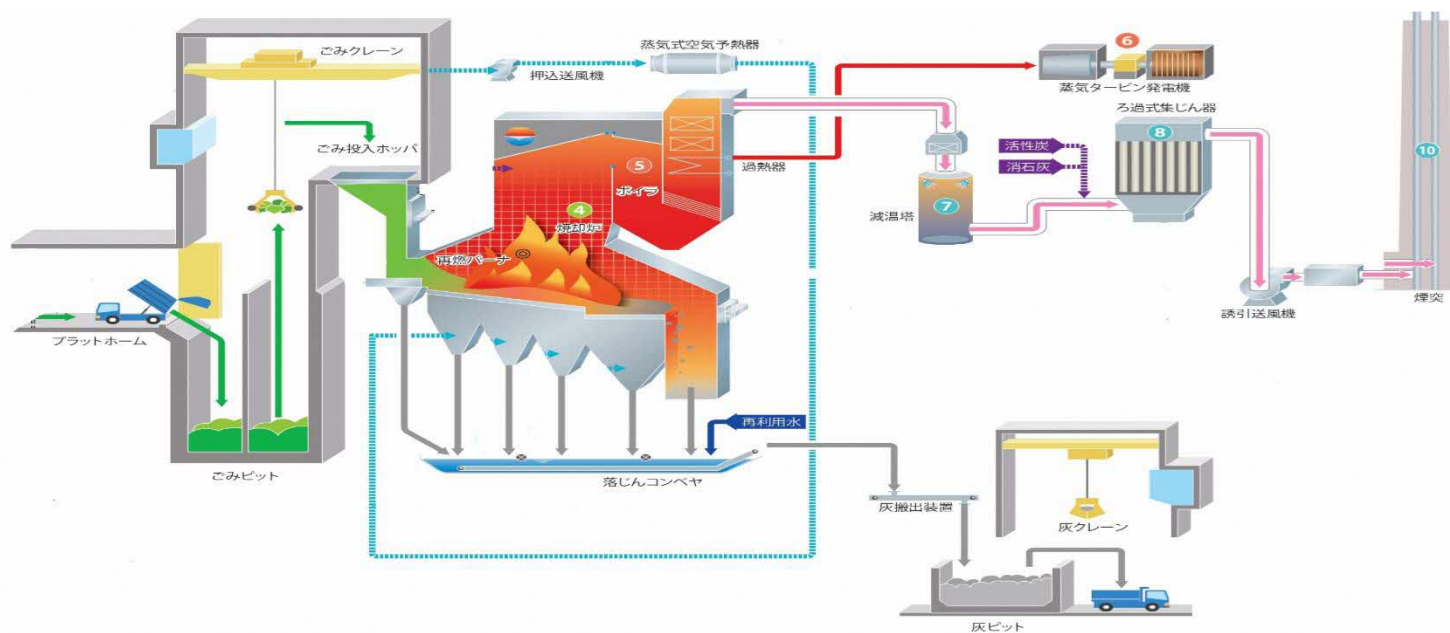
新ごみ処理施設



## 2-1. 施設の特徴（環境）

### (1) ごみ焼却熱を利用した発電

ごみの焼却熱を利用して電気を作ります。



### (2) 再生可能エネルギーの活用

太陽光や風力、地中熱などの多様な自然のエネルギーを有効利用します。



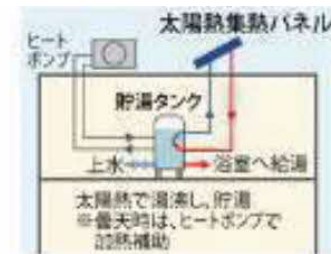
太陽光発電パネル



ハイブリッド外灯



地中熱換気システム



太陽熱利用給湯システム



### (3) 建物の省エネルギー化

LED照明や省エネ空調などで省エネルギーな建物を整備します。(ZEB Ready化)



### (4) 公害防止基準(自主管理基準)の設定

法令等で定める規制値以下の自主管理基準を独自に設定し、ごみを処理します。

	ばいじん ( $g/m^3_N$ )	硫黄酸化物 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)	塩化水素 (ppm)	ダイオキシン類 (ng-TEQ/ $m^3_N$ )	水銀 ( $\mu g/m^3_N$ )
法令・条例による規制値	0.08	3,900	180	123	1	30
新ごみ処理施設の自主管理基準	<b>0.01</b>	<b>30</b>	<b>50</b>	<b>30</b>	<b>0.1</b>	<b>30</b>

## 2-2. 施設の特徴（周辺環境との調和）

### （1）搬入路の工夫（トンネル化・一方通行化、待機車両対策）

- ・搬入路をトンネル化し、周辺への臭気・騒音の漏洩を防止します。
- ・搬入路の一方通行や、十分な待機車両スペースを確保し、周辺道路への交通支障を防ぎます。





## (2) 公園との一体整備

隣接する公園と一体で整備することにより、周辺環境への調和を図ります。



## 2-3. 施設の特徴（迷惑施設の払拭）

迷惑施設というイメージを払拭し、市民の皆様にも長く受け入れられる施設にします。



屋上庭園



子供用遊具

ウォーキング・ジョギングコース



大階段ステージ・テラス



## 2-4. 施設の特徴（環境学習）

### (1) 2つの施設見学コース

ごみ処理施設やごみ処理工程が楽しく  
学べる2つの見学コースを用意します。



### (2) 環境啓発イベント等の開催

環境に対する意識を啓発するための  
イベントや教室を開催します。



エコ実験パフォーマンス



生き物観察



リサイクル工作教室



公園で紙芝居



# 3. 現施設(3施設)との比較

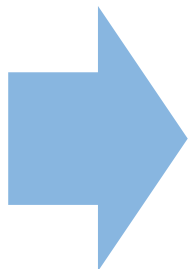
久喜宮代  
清掃センター



菖蒲  
清掃センター



八甫  
清掃センター



新ごみ処理施設



費用 (ごみ処理費 ※)

29 億円/年

**- 14 億円/年**

15 億円/年

発電量 (売電量)

0 MWh/年  
(0世帯)

**+ 20,500 MWh/年**  
(4,600世帯 相当)

20,500 MWh/年  
(4,600世帯 相当)

温室効果ガス排出量

18,900 t -co2/年  
(4,200世帯 相当)

**- 8,800 t -co2/年**  
(2,000世帯 相当)

10,100 t -co2/年  
(2,200世帯 相当)

※ごみ処理費：施設運営・収集・資源選別・塵芥処分・資源売却・売電の合計

## 4. ごみ処理の変更（令和9年度～）




令和9年度の 新ごみ処理施設の稼働に合わせ、  
各地区で異なる分別方法などを統一します。

【現在】（異なるものの一例）

項目 \ 地区	久喜宮代清掃センター （久喜地区）	菖蒲清掃センター （菖蒲地区）	八甫清掃センター （栗橋, 鷲宮地区）
プラスチック の 分別 (ペットボトルを除く)	資源プラスチック類 (プラスチック全般) 	プラスチック製容器包装 (プラマーク付きのみ) 	
ペットボトル の 出し方	透明(半透明)の袋 (すべて同じ袋に入れる) 		ネット(青色) 
瓶, 缶 の 出し方			ネット(黄) 又は コンテナ 

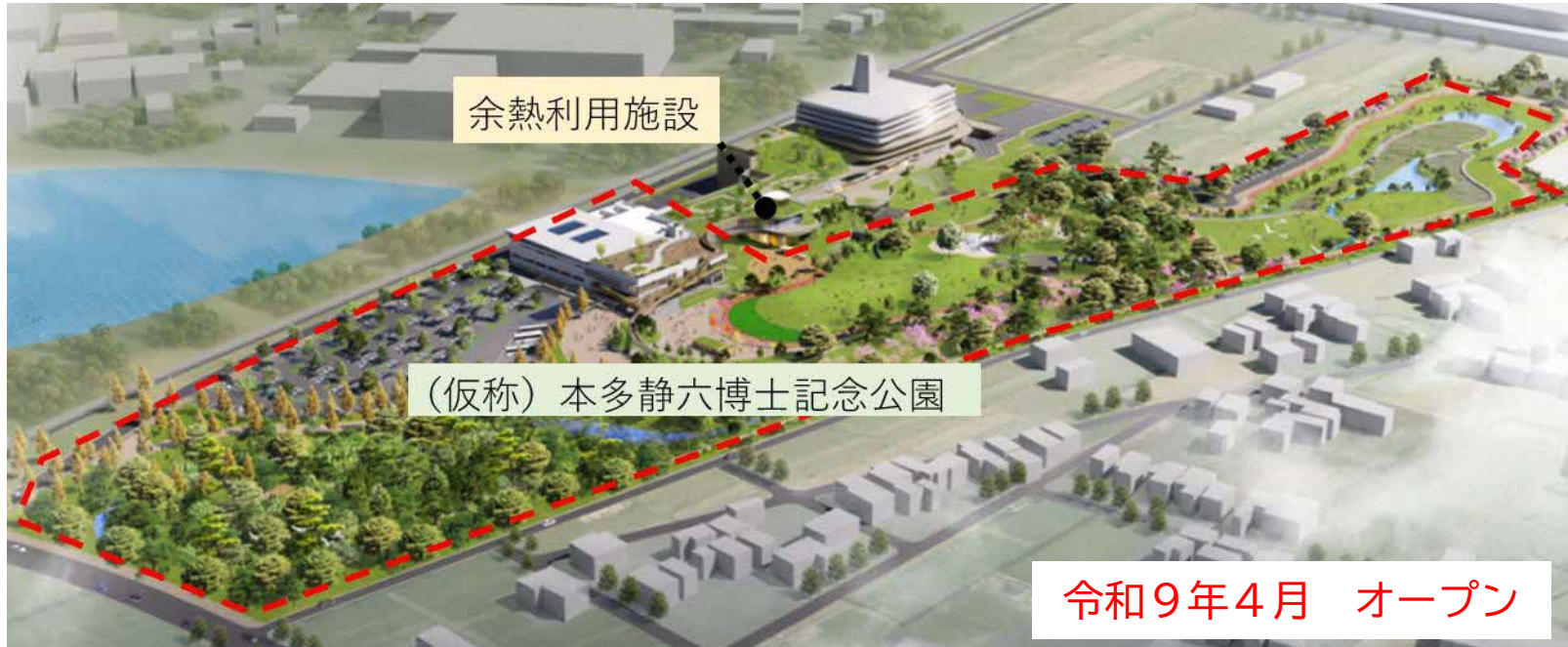


【令和9年度から】（案）

項目 \ 地区	新ごみ処理施設 （全地区）
プラスチック の 分別 (ペットボトルを除く)	燃やせるごみ  +  +  生ごみ    容リプラ    プラ製品
ペットボトル の 出し方	透明(半透明)の袋 (すべて同じ袋に入れる)
瓶, 缶 の 出し方	



# 「余熱利用施設・（仮称）本多静六博士記念公園」について



所在地：菖蒲町台（菖蒲清掃センター周辺）（公園 約93,000m<sup>2</sup>）

整備施設：[余熱] プール、温浴施設、トレーニングジム、飲食施設等  
[公園] 広場、ウォーキング・ランニングコース、バーベキューエリア、遊具等

建物高さ：地上2階（余熱利用施設）

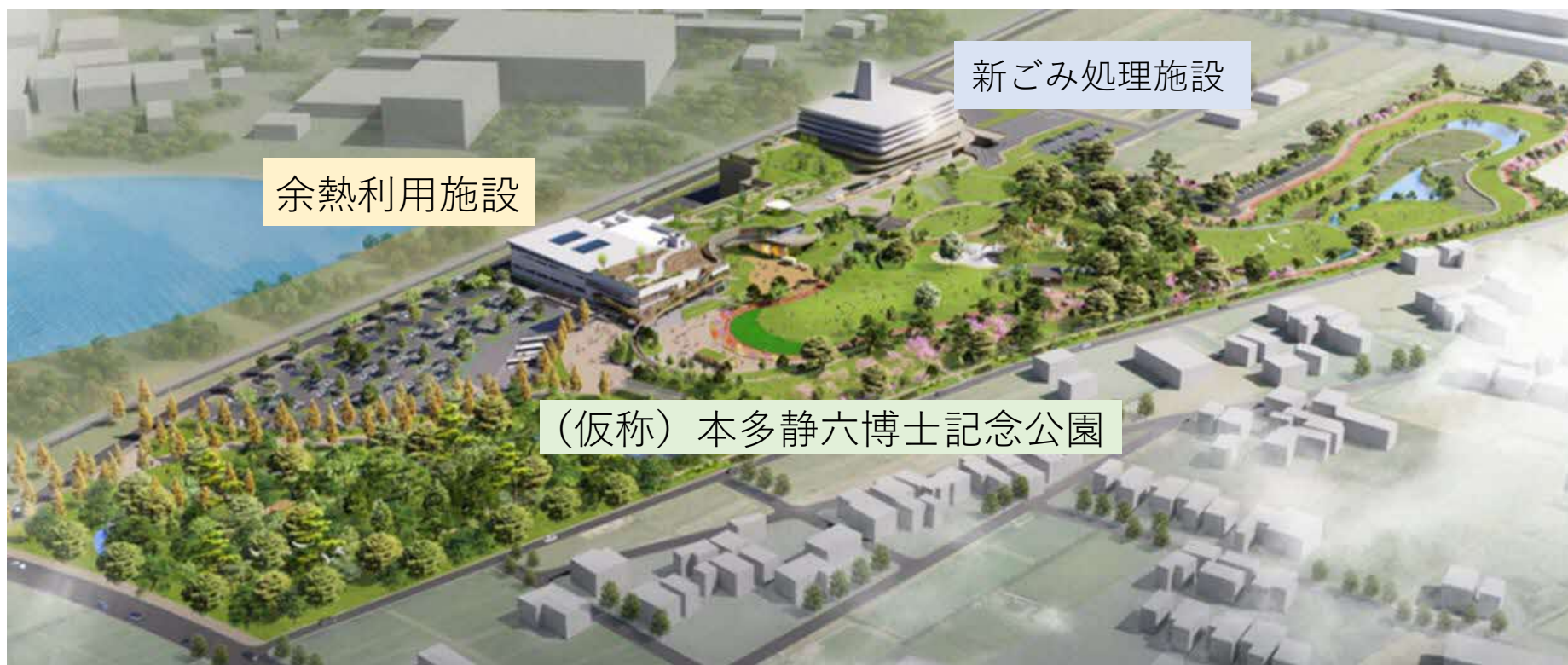
事業費：約130億円（建設費/83億円、運営費(20年間)/47億円）

特徴：ごみの焼却により発生した熱と電気を有効利用

利用開始：令和9年4月

# 1. 施設の一体整備

「余熱利用施設」「本多静六博士記念公園」「新ごみ処理施設」を一体的に整備し、新たな賑わいの場所を創ります。





## 2-1. 主な施設内容 (余熱利用施設)

### ○温浴施設

大浴場、サウナ、  
露天風呂、広間



### ○トレーニングジム

各種トレーニング機器



### ○多目的室

《活用例》  
会議、各種教室等



### ○温水プール

25mプール、  
幼児用・流水プール



### ○フィットネススタジオ

《活用例》  
卓球、各種教室



### ○飲食

レストラン、カフェ



## 2-2. 主な施設内容（（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園）

### ○広場

芝生広場、花壇等



### ○ランニング・ウォーキングコース

ランニング・ウォーキングコース



### ○バーベキュー施設

バーベキューエリア  
機材レンタル、食材提供



### ○遊具

大型遊具  
インクルーシブ遊具等



### ○水遊び場

噴水  
じゃぶじゃぶ池



### ○本多静六博士顕彰の森

博士を顕彰する森





### 3. 施設のイメージ

#### ◇ 余熱利用施設

ごみ処理施設と滑らかにつながる屋上



親子の利用に配慮したキッズスペース



季節ごとの湯を楽しめる露天風呂



リラックスできるマッサージチェア・畳の間





# ◇ (仮称) 本多静六記念 市民の森・緑の公園

ごみ処理施設までつながる遊歩道



景観のよい花壇と芝生のウェルカムゲート



子どもに人気のふわふわドーム



あらゆる子どもと一緒に遊べるインクルーシブ遊具

